

## わが署の販売活動 (835)

扇田署・製品事業所 ○佐々木好一

漆沢 和義

鈴木栄五郎

山内 四郎

阿部 良治

### はじめに

国有林野事業の経営改善を進めていくなかで、収支改善は重要な課題であり、木材市況が好転している状況の中であっても更に付加価値向上に努め、有利販売をすることが我々に与えられた使命であると考えて、需要動向に即した生産販売活動を積極的に推進することを目標とし、その手法の一つとして注文材生産による収入拡大を目指して取り組みました。

### 1. 取り組みへの背景

地元工場資材の販売は、今までは全て3.65m材で、特殊材の注文はなく、地元工場で製品化する資材、工務店で販売する特殊材のほとんどは外材に依存しているのが実態でした。

国産材の需要促進、秋田杉銘柄化の推進等からも特殊材がその役割を大きく担うものと考え、まず地元工場資材の随意契約量の枠内で特殊材の受注生産を課題として取り組むこととしました。

### 2. 受注活動への取り組み

署の販売係が中心となって受注活動に努め、その内容は

- (1) 年度当初に地元各協同組合に対して、工場資材の生産される流域ごとの林況、生産量、生産時期等の情報を提供し、受注生産を行う旨の説明をして特殊材の注文に関心を持ってもらうように努めた。
- (2) 毎月、月初めにその月の工場資材の生産される流域ごとの平均樹高、平均胸高直径、枝の付き具合、林齢等を説明しながら特殊材の注文について、各協同組合に出向いて啓発に努めた。
- (3) 注文があれば、その内容を検討して速やかに現場に採材の指示を行い、場合

によっては立木段階で選木し、スプレーペンキ等で表示を行い、注文条件に適合するように努めた。

### 3. 実行結果

注文材の量は154m<sup>3</sup>と地元工場資材の2%程度で少量でしたが、3.65m材で販売するm<sup>3</sup>当たり平均単価に対して、単純比較ですが約2倍の平均販売単価となり好結果であったと分析しています。

注文材の内訳、主な用途、販売単価の比較は表のとおりですが、中には多節材の注文もありました。

### まとめ

秋田杉の特殊材受注活動をしている中で、地元工場がどうして秋田杉の特殊材を挽かないか、その理由を調べてみたところ、特殊材が公売に出品されても、

- ① 公売出品の量が、注文される量より多かったり少なかったりする。
- ② 工務店等からの注文時期と、公売時期が合わないときもある。
- ③ 応札しても、必ず落札するとは限らない。
- ④ 注文しても日数が掛かりすぎる。

これに対して外材は、必要なときに、必要な量が購入できる。加えて良く乾燥している等の理由から外材を利用しているという実態がわかりした。

このように近代商品としての水準が非常に高い外材に対抗するには、

- ① 地元工場との情報交換を密にして、1ヶ月程度あとに必要とする特殊材の需要掘り起こしを行う。
- ② 注文に即応できるよう、特殊材をストックして置く。
- ③ 注文された規格に、生産材が適合しているか常時チェックし信頼度を高める。
- ④ 契約事務、引渡業務を迅速に行う。

木の良さ、優しさが見直されて、本物指向、高級化指向が一層進み、木材の需要が増大している現在、特殊材の受注生産は秋田杉産地銘柄化の促進と需要拡大に結び付き、ひいては地域木材産業に寄与する一方、増収の一助となり、収支改善にもつながるので今後とも地元工場と連携を図り、受注生産が定着するよう努力していきたいと考えています。

## (1)注文材の内訳

平成元年4月～12月

材 長 m	径 級 cm	材 積 m <sup>3</sup>
2.20	18～22	5.560
2.80	24～28	1.701
3.00	18～22	6.010
3.30	24～28	3.919
4.00	14～24	42.970
4.20	36～40	4.615
4.40	30～34	5.902
4.60	18～22	1.342
5.00	30～40	14.750
5.10	40～50	2.195
5.20	24～28	2.439
5.60	24	0.672
6.00	30～40	10.864
6.20	14～18	6.114
6.20	42	1.146
6.70	30～40	18.544
7.00	30～40	9.316
7.30	14～28	14.302
18.00	14	1.588
計		153.949

## (2)注文材の主な用途内訳

用 途	数 量	備 考
寺の改装, 改築	4棟	比内町1棟, 鹿角市3棟
別荘新築	1	鹿角市
トンプリ加工場	1	比内町
その他一般建築		地場消費

## (3)販売単価の比較

区 分	販売地点	販売単価 (平均割出)
3.65m材	山 元	26,000 円
注 文 材	山 元	61,000 円